

目次

□巻頭言 独自の技術開発を……………清水四郎/1

□協会の事業活動
 社団法人日本建設機械化協会定款……………/3
 本協会の事業について……………/4
 本協会各部会および建設機械化研究所の動き……………/5

□部会報告
 ISO/TC 127/SC 1, SC 4 会議報告……………本郷慎一/14

□部会研究報告
 建設機械損料の検討……………機械損料部会/17
 (建設機械等損料算定表の一部改正)
 オペレータの体格について……………ISO部会/24
 第2委員会

□昭和47年度官公庁の事業概要
 建設省の事業概要……………谷沢義広/25
 日本道路公団の事業概要……………高橋大輔/31
 首都高速道路公団の事業概要……………川村正也/37
 阪神高速道路公団の事業概要……………北村哲夫/42
 本州四国連絡橋公団の事業概要……………池田哲夫/46
 水資源開発公団の事業概要……………内田孝吉/51
 日本住宅公団宅地開発事業の概要……………浅谷陽治/56

グラビヤ—水力・火力・原子力発電所

今後の電源開発の動向……………合田昌満/59
 手取川開発計画の概要……………村上省一/63
 奥清津揚水発電所計画の概要……………村上省一/67

□随想 休日雑考……………村上省一/74
 “道路と公害”欧米事情(2)……………渡辺辰生/76
 福屋智

□建設機械化講座 第105回 現場フォアマンのための土木と施工法
 XVII. 建設機械概説
 2. トラクタ系建設機械(その5)……………高橋九郎/85

□研究所巡り
 電力中央研究所……………合田昌満/90
 三浦開節
 鹿島建設技術研究所……………新牧治宏/93

□建設機械化研究所抄報
 試験研究報告(No. 84)……………建設機械化研究所/96

□文献調査
 1台で200t運ぶ最近の巨大ダム……………広報部会/100
 エアクッションで500tタンクを新しい基礎に
 移動させる……………文献調査委員会/101
 広報部会

□支部便り
 第9回除雪機械展示会開催……………北海道支部/102
 昭和46年度除雪機械展示実演会開催……………東北支部/104

ニユーズ……………(編集部)/106

行事一覧……………/108

編集後記……………(合田・小竹)/110

◀表紙写真説明▶

沼原調整池における

アスファルトフェーシング工事

施工・鹿島建設株式会社

沼原調整池は電源開発(株)が栃木県那須連峰沼原高原に昭和44年12月から着工し、以来昭和47年12月湛水をめざして建設中の純揚水式発電所の上池(貯水量417万m³、利用水深40m)であり、鹿島建設(株)が施工している。

当調整池の特徴は、池の表面にアスファルトフェーシング工法を用い、その面積20万m²(そのうち斜面15万m²)、最大斜面長160mに及ぶ世界最大級規模の工事である。斜面のアスファルトフェーシングには道路舗装と異なった特殊な斜面専用機が5組投入されている。

斜面専用機主要仕様

斜面舗装最大長	180 m
斜面舗装最急こう配	1:1.7 (30°30')
フィニッシャー容量・巻上速度	4 t 0.5~40 m/min
タンバ車容量・巻上速度	4 t 100 m/min
振動ローラ重量・巻上速度	3台×1.5 t 0~25 m/min